

お取引先さま各位

## カカオ・チョコレート週刊ニュース 141号

2015/6/29 発行  
株式会社 立花商店  
坂元 麻美

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願ひ致します。

### 1、市況の動き：

① 最高7月 LDN 市場£ 2,168 /7月 NY 市場\$ 3,328 (6/26) 先週比 LDN **+21** / NY **+28**  
② 最低：7月 LDN 市場£ 2,124 /7月 NY 市場\$ 3,262 (6/23) 先週比 LDN **+4** / NY **+55**  
週内価格差額 (①-②)：LDN 市場£ 44 (傾向↑) / NY 市場\$ 66 (傾向↑)  
週内建玉推移：LDN 市場 288,910 枚(6/19 終了時)⇒289,710 枚 (6/25 終了時) **+800 枚**  
NY 市場 212,923 枚(6/19 終了時) ⇒215,686 枚 (6/25 終了時) **+2,763 枚**

	2015/6/22(月)		2015/6/23(火)		2015/6/24(水)		2015/6/25(木)		2015/6/26(金)	
	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY
5-Jul	2135	3290	<b>2124</b>	<b>3262</b>	2146	3291	2145	3274	<b>2168</b>	<b>3328</b>
5-Sep	2153	3281	2143	3251	2164	3282	2154	3268	2181	3322
5-Dec	2135	3270	2124	3239	2146	3269	2138	3256	2168	3313

(月曜日) ロンドン市場は引き続き新たな高値圏での取引となった。NY はテクニカルな買いが価格を押し上げたが、次の高値圏とされる 3299 ドルを超えられなかった。

(火曜日) Newswere の情報によると、この日のロンドン市場の価格の下落は、ポンドが対ユーロで下落したことや、テクニカルな売買によるものとされた。NY では商取引関係の売り手が主導となり価格をマイナス方向へ押し下げた。

(水曜日) ロンドンではテクニカル買いが市場を牽引し、ここ最近の高値を更新。引けの間に、一時 2156 ドルを超えたが最終的に 2146 で引けた。

(木曜日) ロンドンは寄り付き直後、新たな高値に迫る上昇をしたが届かず、前日比-8 ポンドの 2138 ポンドで引けた。NY はテクニカルな買いにより 9 月きりは 3299 ドルの壁を破るよう見えたが、最終的に 3268 ドルで引けた。

(金曜日) ロンドンは前日比 1.25%、NY は 1.65%上昇した。ロンドンは終わりにかけ新たな高値圏に突入し、一時はアイボリーの内戦時代の高水準並みの価格を付けた。

## 2、ガーナ：カカオ豆収穫量大幅減少(6/19)

ガーナでは日照りが続き、またガーナ政府から農家に支給される農薬や肥料の供給が遅れたことにより2014/15期のメインクロップは通常の3分の1の収穫量にとどまった。Cocobodは契約を履行できる十分なカカオ豆が集荷できない可能性がある。しかし一部のアナリストによると、来期には例年レベルの収穫量に戻るだろうという楽観視している農家もいるという。ガーナ政府は農薬の他にカカオの苗木も供給する方針を示しており、また農薬も直接農家へと届けることを計画している。

予期せぬ収量低下は、65億ドルのカカオの先物市場に即座に影響を与える。アイボリーとガーナだけで世界のカカオ豆供給量の半数以上を占めており、インパクトが大きい。昨年はエボラの影響でカカオの出荷量が減少するのではという懸念からカカオ豆の先物価格が高騰した。結局エボラはアイボリーやガーナには拡大せず、その後3カ月で21%もカカオ豆価格が下落した。

今年国際カカオ機関の見立てによるとガーナ産カカオ豆は69万6000トンにとどまるとしたが、当初Cocobodは90万トンを超えて1万トンを達成する見込みでいた。Cocobodはシーズンが始まる前の収穫見込み量をもとにカカオ豆の売買契約を結ぶが、市場ではガーナが契約履行を果たせるかという疑問が広がっている。3月にはCocobodは85万トンのオファーを出している。しかしCocobodはこれに対してコメントは控えている。ガーナ産カカオ豆を求めている摩砕業者が多く、カカオ豆価格は高騰している。金曜日、NY先物市場の9月きりの価格は3289ドルとなりエボラの影響で高騰した際の水準に達した。

西アフリカのある摩砕業者は「ガーナカカオ豆の不足で我々は追い詰められている。カカオ豆が納品されず、工場のラインを動かさない。グレードの低い豆さえ手に入らない。」と述べている。また他の関係者も「ここ最近では順調に生産量が伸びていたこともあり、今年の不作は予期していなかった。その為、多くの摩砕業者や輸出業者はこの分をリカバーすることが困難であると考えられる。」と述べている。

ガーナ政府はコスト削減の為、農家に無償提供していた農薬や苗木を段階的に減らし、代わりに農家からの買い取り価格を高く設定し、その分の利益で農家自身が設備投資を行える方法へと切り替えていく。しかしここ2年、カカオ豆価格が低かったためにこの施策はうまく機能していなかった。ガーナ政府はこの事実を知り農薬や肥料の供給を再開した。しかしそれがおそく、カカオはすでに弱ってしまっていたのだ。

ガーナ政府は、来期のカカオ豆生産量はもとに戻ると予測している。しかし多くのトレーダーは、たとえガーナのカカオ生産量がもとの水準に戻ったとしても、Cocobodが予測を見誤って売りすぎてしまうことを懸念している。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545    w-ikuta@tachibana-grp.co.jp